

「活用」の力を育てる評価問題

小5 社会 「工業生産と貿易」

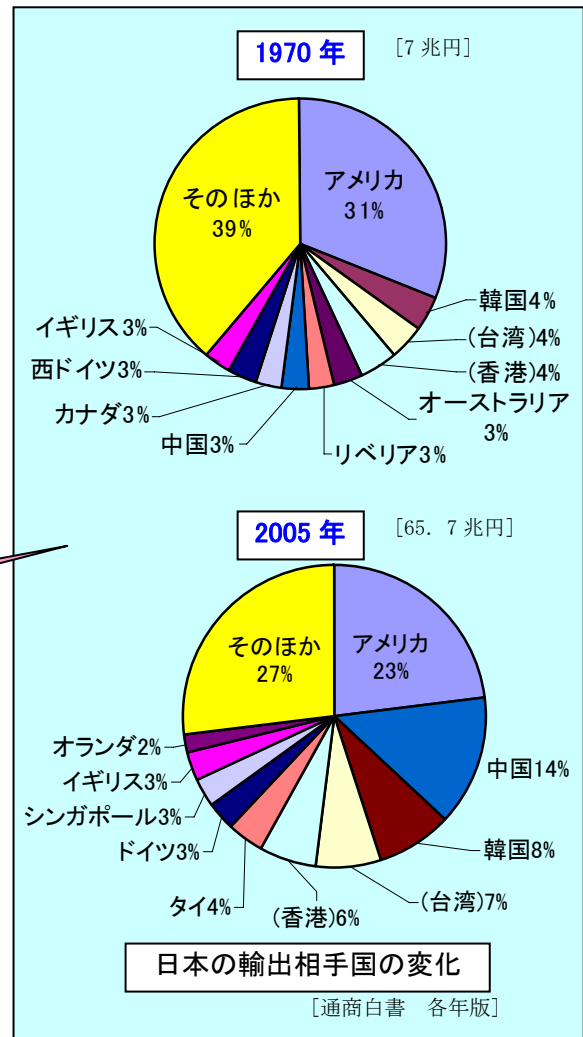
評価問題例

1 右の円グラフを見て答えなさい。

- (1) 1970年に日本が一番多く輸出している相手国はどこでしょう。
- (2) 1970年と比べ、2005年に大はばに輸出量の割合が増えた国はどこでしょう。(いくつでもよい)
- (3) (2)で答えた国はなぜ輸出量の割合が増えたのでしょうか。日本との関係を考えて説明しなさい。

資料や本時の学習内容を
ふり返って考えさせる。

2 今井さんのクラスでは「貿易サミット」を開き、自由な貿易のしくみを守るためのルールをつくることになりました。あなたならどのようなルールを決めますか。「貿易まさつ」という言葉を使って考えを書きなさい。



評価問題のポイント

評価問題 1

(1)は資料から必要な情報を一つだけ取り出す簡単な問題である。資料を理解して、次の問題につなぐ基本的な問題である。

(2)も容易に答えられる問題である。しかし、一つだけ答えるのではなく複数回答することで、近隣の国々及びアジア各国との関係が深くなっていることに気付かせる。

(3)は本時で学習する「マレーシアとの結び付きが深い」「日本の技術を伝えている」ことを生かして中国や韓国、タイなどの国も同じではないかとアジア各国との関係まで思考を深めさせる。

評価問題 2

これまでの貿易の学習がどの程度とらえられているかを見るためにも、取り組んでみたい問題である。これは、貿易の学習で学んだ知識とこれからの日本にとって大切な貿易摩擦について資料と結び付けて、じっくりと思考することをねらった問題である。

HOME

単元の流れへ

本時の流れへ

授業展開例へ

CLICK

評価問題の
ワークシートは
こちら